

小山市立生涯学習センターの連携等に関する運営懇話会（第1回）

栃木県 がすすめる 生涯学習



令和4年4月26日（火）
10：00～
小山市立文化センター 小ホール



プロローグ

Prologue

3人のレンガ職人と生涯学習



プロローグ

Prologue

旅人がある町外れの一本道を歩いていると、
一人の人が道の脇でレンガを積んでいました。

「ここで一体何をしているのですか？」

と尋ねると…

「見れば分かるだろう。レンガ積みに決まっ
ているじゃないか。朝から晩まで、私はここでレ
ンガを積まなければならないのさ。」

と答えました。



プロローグ
Prologue

旅人がもう少し歩くと、レンガを積んでいる別の人に出会いました。

「ここで一体何をしているのですか？」

と尋ねると…

「私はね、レンガを積んで大きな壁を作っているんだ。この仕事をして、家族を養うための給料を手に入れているのさ。」

と答えました。



プロローグ
Prologue

さらにもう少し歩くと、またレンガを積んでいる別の人に出会いました。

「ここで一体何をしているのですか？」

と尋ねると…

「私はね、レンガを積んで大きな壁を作って、歴史に残る大聖堂を創っているんだ。多くの人の幸せに貢献できるのさ。」

と答えました。



Prologue

プロローグ

このお話は、「仕事とは何か」を考えてもらう新入社員研修、自己啓発や目的意識を高くもつ大切さなどを伝えるために使われることがあるイソップ寓話（ぐうわ）です。イソップではないという説もあるようです。

このお話を、少々、かなり？無理がありますが、生涯学習に置き換えてみましょう。



プロローグ

Prologue

ある施設を訪れると、一人の人が無言で黙々と植物と向き合っていました。

「ここで何をしていますのですか？」

と尋ねると…

「フラワーアレンジメントを学んでいるのです。四季折々の花をきれいに飾ることが私の生きがいなんです。」

と答えました。



プロローグ

Prologue

別の施設を訪れると、何人かの人が見守り
と植物と向き合っていました。

「ここで何をされているのですか？」

と尋ねると…

「フラワーアレンジメントですよ。こうやって
花を飾ることを通して多くの人とつながり、学
ぶ楽しさを共有し合っているんです。」

と答えました。



プロローグ

Prologue

その先には別のグループが、先ほどと同じようにワイワイと植物と向き合っていました。

「ここで何をしているのですか？」

と尋ねると…

「フラワーアレンジメントですよ。ここで出会った人たちと今度駅前に飾る花をアレンジしているのです。学んだ成果を生かして多くの人々の心を和やかにできるとすてきですよね。」

と答えました。



生涯学習の理念

国民一人一人が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現が図られなければならない。

教育基本法 第三条 生涯学習の理念（平成18年新設）より

生涯学習の理念

生涯学習の理念からすると、先ほどのある施設で出会った人たちの中では、3人目のレンガ職人同様、3番目の学んだ成果を生かして多くの人の心を和やかにしようとしている人たちが理想的な市民・地域住民の姿になってくるかと思われまます。

社会教育行政として、学んだ成果を進んで地域づくりに生かし、社会の持続的発展に貢献できる人間を育てていくことが大切になります。



生涯学習の理念

しかし、このことは社会教育行政側の都合です。自己啓発や新入社員研修では、最終的なゴールを示して目的意識と志を高くと説き、モチベーションを上げることはとても重要です。多様なライフステージの多様な人を対象とする生涯学習において、「みなさん、ここで学んだことを小山市の発展に役立ててください。それが生涯学習なんです。」と正しいことを一様に伝えても、多くの人には伝わりません。



行動変容ステージモデル (参考)

無関心期

関心期

準備期

実行期

維持期

- ❁ 無関心期…6ヶ月以内に行動を変えようと思っていない時期
- ❁ 関心期……6ヶ月以内に行動変容を起こす意思がある時期
- ❁ 準備期……1ヶ月以内に行動変容を起こす意思がある時期
- ❁ 実行期……明確な行動変容は観察されるが、その持続が6ヶ月未満の時期
- ❁ 維持期……明確な行動変容が6ヶ月以上続いている時期



生涯学習の理念

参考として行動変容ステージモデルをお示しました。フラワーアレンジメントのお話で、花を飾ることに生きがいを感じている方にとって地域づくりは無関心期と言えるでしょうし、駅前に花を飾ろうとしている方にとって地域づくりは実行期か維持期と言えるでしょう。



生涯学習の理念

自分にとっての「生きがい」を求める学びや、まだまだ地域づくりに対しては無関心期の方の学びは、生涯学習社会の実現を目指す人にとっては一見すると趣味教養止まりの低次な学びに思えるかもしれません。

しかし、「生きがい」を求める学びは、地域づくりに対しては無関心期であっても、学びに対しては実行期・維持期になります。生涯学習の入口と言える学びを大切にしたいものです。



生涯学習の理念

また、人の行動が変容するのは、心が動いたときだといわれています。

学んだ成果を適切に生かすことのできる社会の実現のためには、それぞれの学びのステージにいる人（学びに対して無関心期の人も含め）の心を動かし（些細な成功体験など）、それぞれのステージの学びを丁寧につないでいくことが大切になってくるのではないのでしょうか。

（つないでいくためのマニュアルはありません）



第3期教育振興基本計画

Ⅲ 2030年以降の社会を展望した 教育施策の重点事項

- ❁ 「超スマート社会（Society5.0）」の実現に向けた技術革新が進展するなか「人生100年時代」を豊かに生きていくためには、「人づくり革命」、「生産性革命」の一環として、若年期の教育、生涯にわたる学習や能力向上が必要
- ❁ 教育を通じて生涯にわたる一人一人の「可能性」と「チャンス」を最大化することを今後の教育施策の中心に据えて取り組む



第3期教育振興基本計画

IV 今後の教育施策に関する基本的な方針

- ❁ 夢と志を持ち、可能性に挑戦するために必要となる力を育成する
- ❁ 社会の持続的な発展を牽引するための多様な力を育成する
- ❁ 生涯学び、活躍できる環境を整える
- ❁ 誰もが社会の担い手となるための学びのセーフティネットを構築する
- ❁ 教育政策推進のための基盤を整備する



第3期教育振興基本計画

生涯学習に関連する教育施策の目標抜粋

- ❁ 家庭・地域の教育力の向上、学校との連携・協働の推進
- ❁ 人生100年時代を見据えた生涯学習の推進
- ❁ 人々の暮らしの向上と社会の持続的発展のための学びの推進
- ❁ 職業に必要な知識やスキルを生涯を通じて身につけるための社会人の学び直しの推進
- ❁ 障害者の生涯学習の推進



第3期教育振興基本計画

技術革新の進展にともない価値観が多様化し、人生100年時代とも言われる社会の中で、一人一人のライフステージとライフスタイルに応じて学び続けることが重要であるとされています。

平成30年6月に閣議決定された第3期教育振興基本計画(2018-2022)の中で、今後の教育施策の方向性が示されました。



第3期教育振興基本計画

2030年以降の社会を展望した教育施策の重点事項のひとつとして、「教育を通じて生涯にわたる一人一人の『可能性』と『チャンス』を最大化することを今後の教育施策の中心に据えて取り組む」ことが示されました。

それを受けた、5つの基本的な方針と基本的な方針ごとに教育施策の目標などが設定されました。配付資料で後ほどご確認ください。



第10期中央教育審議会

生涯学習分科会における議論の整理(R2.9)

多様な主体の協働とICTの活用で、つながる生涯学習・社会教育
～命を守り、誰一人として取り残さない社会の実現へ～

2.新しい時代の生涯学習・社会教育の 広がりと充実に向けて

推進のための方策 抜粋

- ❁ 学びの活動をコーディネートする人材の育成・活用
- ❁ 新しい技術を活用した「つながり」の拡大
- ❁ 学びと活動の循環・拡大
- ❁ 個人の成長と社会の発展につながるリカレント教育の推進



栃木県生涯学習推進計画

(六期計画) 2021~2025



とちぎ学び輝きプラン

新たに掲げられた施策

- ❁ 共生社会の実現に向けた「障害者の生涯学習の推進」
- ❁ より多くの地域住民等が子どもの成長を支える「学校と地域の連携・協働の推進」
- ❁ 新たなライフスタイルに対応する「ICTを活用した生涯学習機会の提供」



栃木県生涯学習推進計画

(六期計画) 2021~2025



とちぎ学び輝きプラン

目指す県民像

**主体的に学び、
多様な人と協働しながら、
地域や社会で生き生きと行動する県民**



栃木県生涯学習推進計画

(六期計画) 2021~2025



とちぎ学び輝きプラン

基本目標

学び、つながり、活躍できる人づくり

「とちぎの生涯学習」の3つの方向性

自立

県民一人一人の個性や能力を伸ばし、自律して人生を切り拓いていく生涯学習の推進

協働

多様な主体の連携・協働を促す生涯学習の推進

創造

県民一人一人のふるさとへの愛着を育み、地域の持続的発展を図る生涯学習の推進



栃木県生涯学習推進計画

(六期計画) 2021~2025



施策の体系

とちぎ学び輝きプラン

生涯にわたる学びの 機会の充実

- ❖ ライフステージに応じた多様な学習機会の充実
- ❖ 人権が尊重される共生社会の実現に向けた多様な学習機会の充実
- ❖ 子どもや若者が未来を切り拓く力を育む学習の推進



学びを高める つながりづくり

- ❖ 多様な主体との連携・協働の推進
- ❖ 学校と地域の連携・協働の推進

学びを生かした 地域づくり

- ❖ ふれあいや交流を通じた地域づくりの促進
- ❖ 学びの成果を生かす取組の推進

生涯学習推進の基盤づくり

- ❖ 県民の学びを支える環境づくり
- ❖ 新たなライフスタイルに対応した生涯学習の環境づくり
- ❖ 生涯学習を推進するコーディネート機能の充実
- ❖ 生涯学習関連施設の機能充実



生涯学習社会の実現のために

平成30年に内閣府が行った「生涯学習に関する世論調査」によりますと、この1年間くらいに「学習をしたことがない」と回答した人は41.3%で、その理由の多くは「きっかけがつかめない」をあげていたそうです。

共生社会の実現のためにも、障害者や外国人なども対象とした多様な人のための、多様な学びの入口（学びへ向かうきっかけ）づくりが大切になっています。



生涯学習社会の実現のために

そして、その多様な学びをひとつずつ紡いで、学びの成果を適切に生かすことができる社会へとつないでいける取組や仕組み作りを、多様な関係者が連携して進めていく必要があるのではないのでしょうか。

一人一人の個性と多様性が尊重され、家庭で、地域で、職場で、それぞれの能力を発揮し、生きがいを感じることができる社会の実現に向け、ますます生涯学習の重要性が高まっています。

実は、フラワーアレンジメントのお話には続きがありました。

最後に文化センターを訪れてみると、先ほどよりも多くの方がワイワイとお花と向き合っていました。

「みなさんも、フラワーアレンジメントを行っているのですか？」

と尋ねると…

「いえいえ。フラワーアレンジメントなんてとんでもありません。私たちはただ、種を蒔いているだけです。たったひとつのお花を、小さな子も、ご高齢の方も、障害のある方も、外国籍の方も、みんなで愛でられる、そんな未来を思い描きながらね。」

とみんなが答えました。

本日までご参加の皆様は、
小山市の生涯学習の未来に、
どんな種を蒔きたいですか？

小山市立生涯学習センターの連携等に関する運営懇話会（第1回）

栃木県 がすすめる 生涯学習

ありがとうございました。

